2019年度　　授業概要

科目名	職業関連技術論							授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	8	回	時間数	15	時間	1	単位	配当学年時期		２年	後期	

【授業の目的・ねらい】

職業前訓練を学ぶ

【実務者経験】

作業療法士としてケアステーションかんざき（公立神崎総合病院）に勤務。身体機能障害及び小児領域のリハビリテーションに従事、また、自立支援協議会にて、就労支援及び就労定着支援に従事。

【授業全体の内容の概要】

地域社会に復帰するまでの職業前訓練を理解する

【授業終了時の達成課題（到達目標）】

人にとっての職業の意味を理解し、作業療法的支援の手がかりをつかむ

回数	講義内容	準備物(教材)
1	人と職業	
2	障害者の就労と視点、関連制度	
3	就労支援と職域開拓の実際	
4	作業療法評価（障害者用就職レディネス・チェックリストなど）	
5	障害種別就労支援（身体障害、高次脳機能障害）	
6	障害種別就労支援（知的障害）	
7	障害種別就労支援（精神障害）	
8	障害種別就労支援（精神障害）	
	定期筆記試験	

【使用教科書・教材・参考書】

作業療法全書　職業関連活動協同医書

【準備学習・時間外学習】

社会保障制度や地域作業療法学で学んだことを復習しておく。

【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。
課題の評価50点、定期試験50点として合計100点とする。
60点以上の場合に科目を認定する。